

～令和元年から起業 Work like a beaver.～  
亀井 慎一郎さん(久万高原町(旧久万町))

株式会社 Beaver 代表取締役  
1979年生まれ



☆経営概況☆

素材生産を行う林業事業体、株式会社 Beaver の若き経営者です。

もともとは、個人でビーバー林業の代表をしておりましたが、仲間を集めて起業、令和元年5月、現在の株式会社 Beaver を立ちあげました。

会社名の由来は、文字どおり動物のビーバーです。

ビーバーというと、木や枝でダムをつくるのが有名ですが、実は、ダムづくりのために、木をかじりながら眠ってしまうほど仕事熱心で、英語では、一生懸命働くことを、Work like a beaver. (ビーバーのように働く) と表現するようで、自分の仕事に対する気持ちに通じる部分があると感じました。

また、久万高原町の林業の若手を組織した、「自伐林家の会」の会長として、定期的に意見交換の場を設け、積極的に相談に乗るなど、リーダーシップを発揮しています。

☆ここがポイント☆

もとは、家業の飲食業を営んでおりましたが、自分には体を動かす仕事が向いていることに気づき、条件を満たす仕事を探していました。

そこで、現場で働きながら、必要な免許を取得することができる「緑の雇用」新規就業者育成推進事業の募集を見つけ、事業体で林業を学ぶことにしました。事業で定められた2年を終えた後も事業体に残り、合計14年間の林業経験を積みました。

技術・体力面が強化されたのはもちろんのこと、資格も多数取得できました。歳月を経るうち、林業の魅力に引き込まれ、自分が目指す林業を行うために、令和元年度に株式会社 Beaver を設立しました。

仕事は、高性能林業機械を用いた搬出間伐(混み合った林の木を抜き伐りし搬出する)が大半で、2名の社員を含めた計3名で、一貫した作業形態をとっています。今後は、高性能林業機械の追加導入や新規社員の雇用などにより、事業を拡大していきたいと考えています。

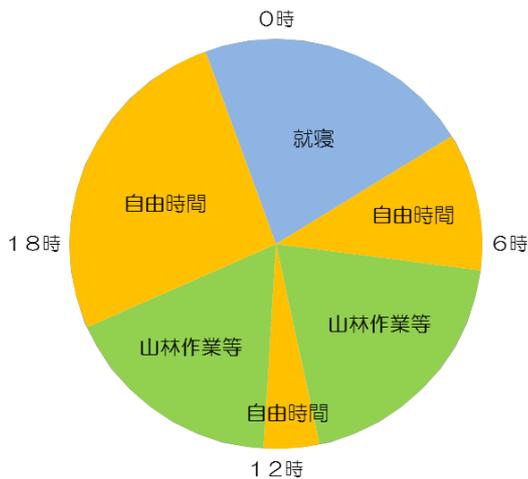


倒す方向を定めて、  
チェーンソーで立木を伐採



プロセッサで伐倒木を玉切り

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

日曜日を原則休みとしていますが、野外作業は天候に影響されるため、休日は変動することが多いです。

(株)Beaver を立ち上げて間もないために趣味に手が回っていないのが現状ですが、山を使って楽しめることを模索しています。

たとえば、施業後の山は景色も良く傾斜もあるため、趣味の一つであるバイクで走れるように整備していけたらいいなと考えています。木を伐って終わりではなく、施業後にも森林を遊び場として活用することを考えていきたいと思っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】						
休日は不定期（悪天候の日に休日を振りかえ）						
← 山林作業・事務 →						→ 休日 ←



オフロードバイクで山を走行中！



森林活用イメージ  
(このように山を活用したい)

☆これからの夢や目指すもの☆

世間による林業のイメージは、いまだに3K（きつい・きたない・きけん）というイメージが強いように感じています。林業事業者である私たちが「カッコいい」憧れの存在になれるように、林業の基礎を徹底することを前提とした上で、業務に全力で取り組んでいきたいです。

そして、その取り組みが林業従事者を増やすことにつながれば幸いです。

☆メッセージ☆

森林の一連のサイクル（植える→育てる→伐る（使う））には50～60年程度の長い年月が必要です。先代が植えた木を私たち世代が伐る、というように世代を超えて成り立っているのが林業であると言えます。このような魅力的な林業を私たちの次の世代にもつなげられるように頑張っていきたいです。